医薬品安全管理教育セミナー2015 春季

テーマ：　ハイリスク医薬品の有害作用と危機管理

会期：　2015 年 5 月 9 日(土)～10 日(日)午前
会場：　東京大学法文 1 号館 25 番講堂。定数 700 名
(東京都文京区本郷 7-3-1)

医薬品には既知/未知の重篤有害作用が存在する場合がある。本セミナーは、薬剤師および看護師がこれらの適切な対応を円滑にするために、関連する最新医学の基本知識を提供するものです。
参加者にはお渡しします。

受講対象者：　国際医療リスクマネージメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医薬品安全管理者、薬剤師、看護師、医薬品製造・輸入・販売業者、その他

プログラム　(最終版)

2015 年 5 月 9 日(土)

受付開始　午前 9 時

午前 10 時～午前 10 時 50 分　(官庁講演)　**医薬品副作用被害救済制度について**
加藤 直人（厚労省所管　独立行政法人 医薬品医療機器総合機構健康被害救済部調査第一課長）

午前 11 時～午前 11 時 50 分　(臨床医学講義　1)　**胎児期での薬物投与の有害作用と注意点**
永松 健　(東大病院産科婦人科学教室)

午後 1 時～午後 1 時 50 分　(臨床医学講義　2)　**新生児/小児へのハイリスク薬の有害作用と注意点**
高橋　尚人　(東大病院 総合周産期母子医療センター、新生児科)

午後 2 時～午後 4 時　(パネルディスカッション 1)　**「ハイリスク薬の院内ガバナンスの現状と課題」**

2015 年 5 月 10 日(日)午前

午前 8 時 30 分　受付開始
午前 9 時～午前 9 時 50 分　(臨床医学講義 3)　**抗癌剤による薬物有害作用の概要**
篠崎　英司　(がん研有明病院消化器内科)

午前 10 時 30 分～午前 11 時 10 分　(薬剤講演)　**地域医療連携の中で薬物療法の質と安全をシームレスに担保するには**
橋田　亨（神戸市立医療センター中央市民病院　院長補佐・薬剤部長）

午前 11 時 10 分～午前 12 時　(パネルディスカッション 2)　**「電子お薬手帳を活用した服薬の安全管理」**
座長：橋田　亨
1　電子お薬手帳利用者（保険薬局薬剤師）
2　電子お薬手帳ベンダー（SONY など）

参加申込締め切り：　2015 年 4 月 27 日

定数(700 名)になり次第に、申込受付を閉め切ります。

参加申し込み方法：　下記のホームページをご覧ください。参加費を掲載しています。

担当事務局
国際医療リスクマネージメント学会本部
(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
(電子メール) head.office01@iarmm.org
(Tel/Fax) 03-3817-6770

ホームページ　http://www.iarmm.org/J/Drug2015May/